




今年は、お盆明けの週から出校ということもあり、いつもとは違った夏休みではなかったでしょうか。対外試合も軒並み縮小され、加えて地域の夏祭りも今年は無く、特に6年生や中学3年生は学校最後の夏休みということで、それぞれ有意義な思い出作りに心を馳せていたことと思います。未だにコロナ禍の影響でいろいろな事が制約されていますが、三密に気を付け、気分も新たに2学期の学習、スポーツ、学校行事など、子どもたち一人一人がそれぞれの思い出作りに臨んでいければいいですね。

また、来年2021年は、伝統行事である「白八幡宮大祭」が控えています。4年に一度の開催ということもあり、鱒ヶ沢町にとって大きなイベントの一つです。何とかコロナ禍が終息に向かい、来年の大祭には町内はもとより県内外から沢山の方が訪れ、祭りの成功の一翼を担ってほしいと願うところです。

祭りの盛り上げ役は何といっても地域の子どもたちです。学校、家庭、地域とのかかわりの中で生まれる人とのつながりこそ、コミュニティ・スクールの大きな要素となり得ます。「学校を核とした地域づくり」のため、今年度導入されたコミュニティ・スクールですが、来年の大祭では御神輿渡御行列や塩竈神社奉納神楽、各町内の山車合同運行など子どもたちが関わる場面がたくさん出てきます。いろいろな人たちと出会う交流の場にもなります。

先般行われた学校運営協議会設立会議の場でも、次のようなことが話題に挙げられました。児童生徒の安心安全という視点で、見守り、声かけ体制のさらなる強化ということから、特に通学路における野生の「サル」問題に関して、地域住民等、いろいろな立場の方に参加していただく「タウンミーティング」を開催し、その対策を協議していくことも確認されました。

このように、鱒ヶ沢町コミュニティ・スクールは、いま、動き出したばかりです。「地域とともにある学校」というコンセプトのもと、地域みんなでかかわり合いながら、未来を担う子どもたちのため、「地域として今、何ができるのか」、「できることから始めていこう」という、常にそのスタンスで今後も進んでいきたいものです。
(記: 社教推進DC 木村)

【2017年の大祭の様子と子どもたちの出番】

